

政 策 24

～財源、財産を適正に管理し、配分します～

後期基本計画に定める指標値「めざそう値」等一覧

【めざしたい将来像】

市民ニーズに弾力的に応えられる活力に満ちた松戸市となるために、発展性のある健全な財政運営を実現します。そのために、将来を見越して、社会資源の有効活用を図りつつ、柔軟かつ大胆な発想で歳入・歳出とも不断の見直しを行います。

| 指 標 | | 21年度 | 22年度 | 25年度 | 27年度 現状値 | 28年度 (注1) | 32年度 (注2) |
|--------|---------------|-------|-------|--------|-------------|--------------|--------------|
| 財政力指数 | めざそう値 (目標) | — | 0.950 | 0.980 | — | 0.98 | 1.050 |
| | 実績値 | 0.951 | 0.905 | 0.886 | 0.895 | | |
| 経常収支比率 | めざそう値 (目標) | — | 89.0% | 90% | — | 88% | 85% |
| | 実績値 | 93.7% | 90.2% | 88.6% | 90.6% | | |
| 自主財源比率 | めざそう値 (目標) | — | 71.5% | 70% | — | 70% | 70% |
| | 実績値 | 69.6% | 60.8% | 58.9% | 57.5% | | |
| 将来負担比率 | めざそう値 (目標) | — | — | 40% | — | 35% | 35% (※) |
| | 実績値 | 29.9% | 26.4% | ▲11.0% | ▲21.5% | | |

(注1)平成28年度のめざそう値は、第5次実施計画でめざす目標値です。めざそう値(28年度)設定の考え方は、第5次実施計画に設定した「めざそう値」の指標解説によります。

(注2)平成32年度のめざそう値は、後期基本計画書に記載しているめざそう値を記入しております。その中で“(※)”の表記のあるものについては、第6次実施計画策定時に平成27年度の現状値などを踏まえ見直します。

政策24

財源、財産を適正に管理し、配分します

1.財源を確保し、有効に配分します

1. 現況と課題

先の見通しが立たない経済情勢にあって、本市財政運営は厳しい局面にあります。財政健全化法に基づく、健全化判断比率（実質赤字比率、連結実質赤字比率、実質公債費比率、将来負担比率）は、大幅に早期健全化基準を下回っており、健全な状況にあります。

しかしながら、財政構造の弾力性を示す「経常収支比率」は、平成13年度に86.4%であったものが、平成26年度には90.6%まで上昇しています。一般的には、建設事業等に一定の財源を振り向けるためには、経常収支比率は、70～80%の範囲にあることが望ましいと言われています。

なお、自主財源比率については、平成13年度に67.0%であったものが、19年度は72.6%になりましたが26年度には57.47%となり、再び低下しています。

また、本市の市民一人当たりの市税収入は、平成26年度139,091円であり、近隣の市川市、船橋市、柏市と比較して、約1割低くなっています。こうした担税力からも、さらなる行財政改革を続ける必要があります。

【特筆すべきニーズの変化】

- ① 将来への負担を軽減し、財政力に見合った行財政運営を行うことが求められています（ニーズの増）
- ② 市税の収納率をより向上させて、税負担の公平性を確保することが求められています（ニーズの増）

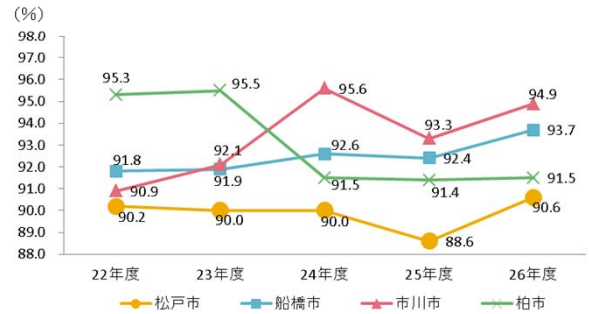
●財政健全化法における各指標の基準

| 区 分 | | 26年度 | 25年度 | 早期健全化基準 ^(注1) | 財政再生基準 ^(注2) |
|---------|--------------------|-----------|-----------|-------------------------|------------------------|
| 健全化判断比率 | 再生判断比率 | | | | |
| | 実質赤字比率 | (▲6.61%) | (▲8.24%) | 11.25% | 20.00% |
| | 連結実質赤字比率 | (▲19.78%) | (▲20.16%) | 16.25% | 30.00% |
| | 実質公債費比率 (3カ年平均) | 0.8% | 1.7% | 25.0% | 35.0% |
| | 将来負担比率 | (▲21.5%) | (▲11.0%) | 350% | |

(注1) 財政健全化計画を定めなければならない基準
(注2) 財政再生計画を定めなければならない基準

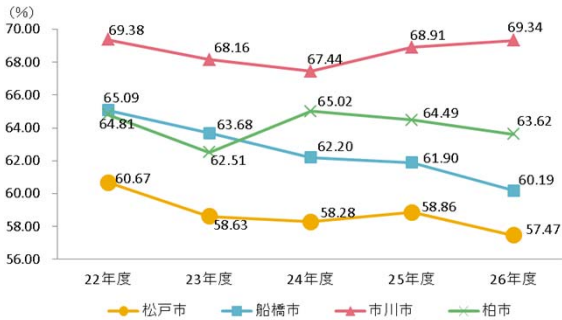
出典 松戸市の財政状況[平成26年度決算版]

●経常収支比率(他市比較・経年変化)



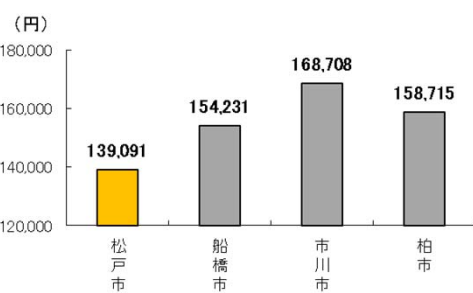
出典 松戸市の財政状況[平成26年度決算版]をもとに作成

●自主財源比率(他市比較・経年変化)



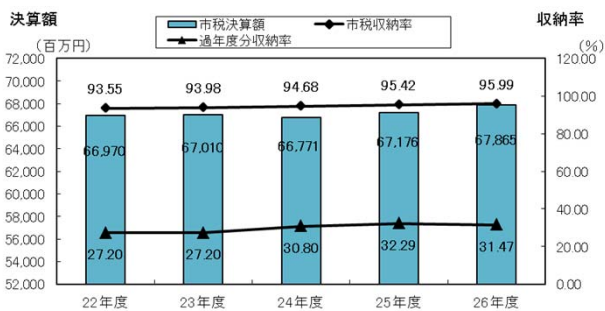
出典 松戸市の財政状況[平成26年度決算版]をもとに作成

●1人当たり市税収入の近隣市との比較(平成26年度)



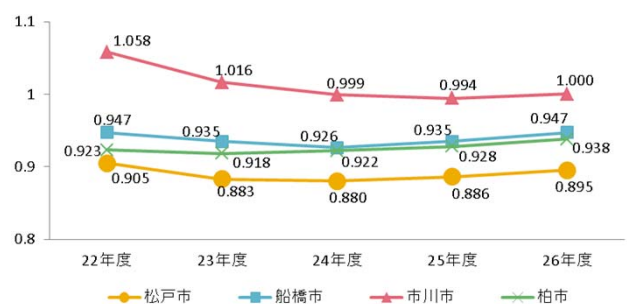
出典 松戸市の財政状況[平成26年度決算版]

●市税決算額と収納率



出典 松戸市の財政状況[平成26年度決算版]

●財政力指数(他市比較・経年変化)



出典 松戸市の財政状況[平成26年度決算版]をもとに作成

2. 施策の展開方向

平成19年に、「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」が成立し、平成20年度決算から新たな健全化判断基準と再生判断基準が適用されました。本市においては、これまでも「松戸市行財政改革計画」などにより取り組んできましたが、行財政改革の一層の推進が必要とされています。

また、市税の収納率向上に向けた取り組みとして、差し押えた不動産の公売を行うなどのほか、市税以外の各種料金等についても税と一元的な滞納管理を行うとともに、担税力の強化を図ることにより歳入の確保を図ります。

歳出については、義務的経費の増加を極力抑制しつつ、選択と集中により、限られた投資的経費を有効活用し、最大の効果があがるよう不断の見直しを行います。

なお、基本計画に掲げられた施策を個別事業にまとめ、財政的な裏づけをもたせた実施計画を着実に推進するため、毎年、中期的な財源推計を行いながら、事務事業を見直し、計画的な財政運営を行ってまいります。

3. 施策を推進していく上での課題

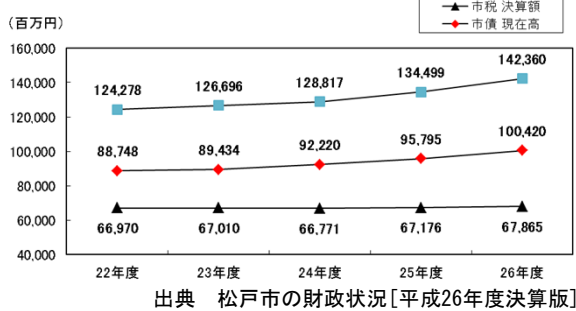
財源の有限性を今一度認識し、施策の選択と集中にあたっては、事業効果等の検証は当然のことながら、優先度、緊急度など、従来にも増した施策の評価が必要となってきます。

その中で、健全財政を維持しつつ、新しい市民ニーズに応えていくため、また総合戦略の推進・達成のためには、歳出構造を再構築するなどし、財政構造の弾力性を取り戻すことが課題となっています。

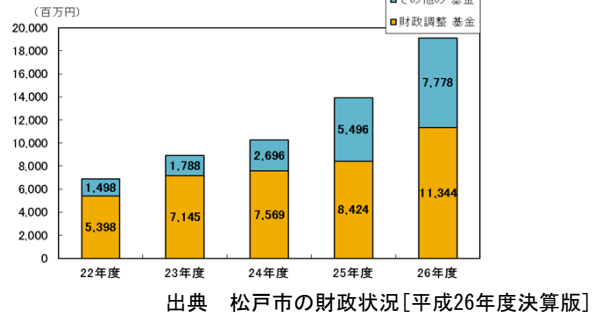
【特筆すべき松戸の強み・弱み】

- ① 健全化判断比率は、大幅に早期健全化基準を下回っており、健全な状況にあります（強み）
- ② 1人当たり市税収入額が他市に比べて低くなっています（弱み）
- ③ 滞納整理強化により、その方策やノウハウが充実しています（強み）

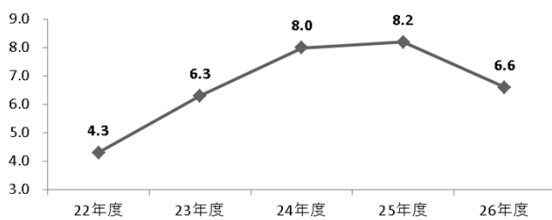
●一般会計 決算額と市債現在高の推移



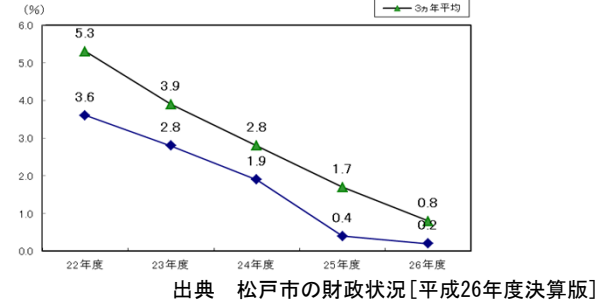
●積立基金の状況



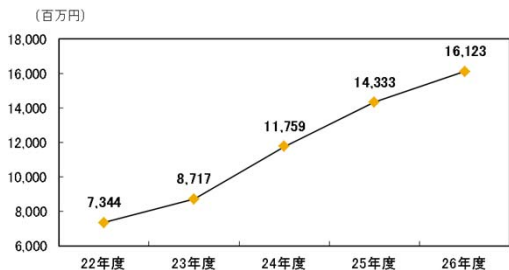
●実質収支比率(経年変化)



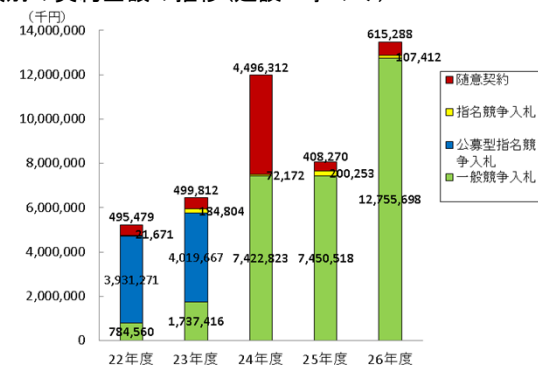
●実質公債費比率(経年変化)



●投資的経費の推移



●種類の契約金額の推移(建設工事のみ)



政策24

財源、財産を適正に管理し、配分します

2. 財産を管理し、有効な活用を図ります

1. 現況と課題

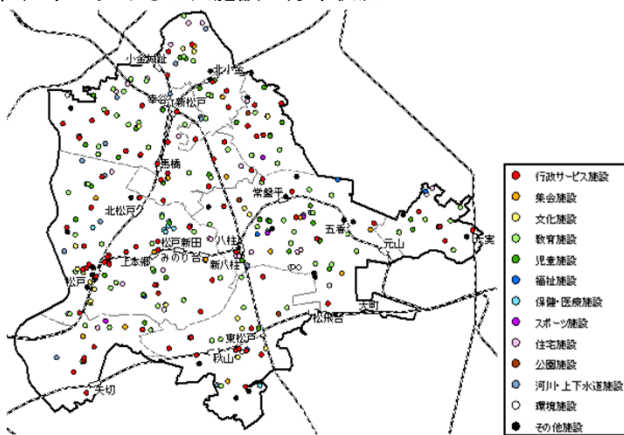
本市においては、昭和40年代から50年代にかけて、公共施設を市内各所に整備してきました。こうした公共施設が、建築年から相当年数を経過し、修繕や耐震化、建替え等への対応が課題となっています。

なお、市民意識調査によると、「市役所・支所を不便に感じている人の割合」は、平成21年度の37.0%から、24年度は33.5%と減少は見られますが、より使いやすい施設に改善していくことが、課題となっています。

【特筆すべきニーズの変化】

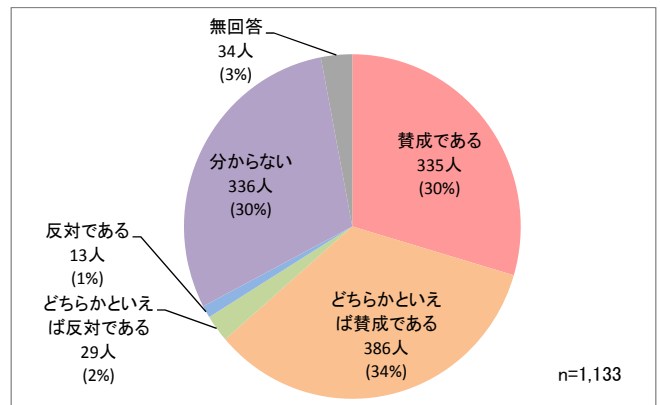
- ① 本市が考える公共施設マネジメントの取組みについて、過半数の方が賛意を示しており、老朽化した公共施設の再編・整備が必要であると思われています（ニーズの増）
- ② 未利用資産については、貸付け、売却などにより処分を実施し、利活用を図って欲しいと思われています（ニーズの増）

●松戸市における公共施設の分布状況



出典 松戸市公共施設再編課資料をもとに作成

●公共施設マネジメントの取組みについて



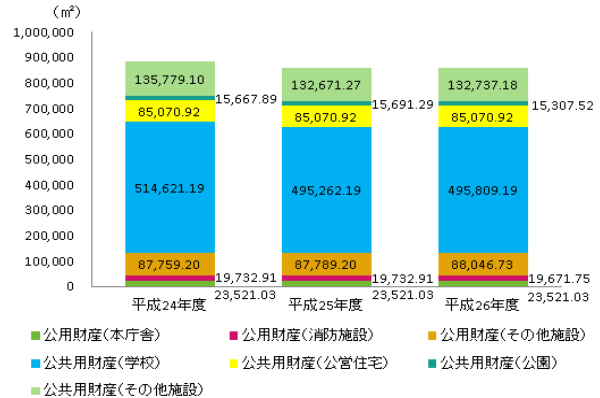
出典 松戸市公共施設再編整備基本方針

●車両種類別台数（台）

| 車種 | H22.3末 | H23.3末 | H24.3末 | H25.3末 | H26.3末 | H27.3末 |
|------------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 乗用車 | 28 | 25 | 25 | 24 | 24 | 23 |
| 軽自動車 | 148 | 154 | 152 | 165 | 174 | 179 |
| 貨物車 | 72 | 67 | 64 | 53 | 44 | 41 |
| 原付バイク | 5 | 5 | 5 | 5 | 5 | 5 |
| 乗合自動車 | 8 | 8 | 8 | 8 | 8 | 8 |
| 特種車(一般用途) | 14 | 12 | 12 | 11 | 11 | 11 |
| 特種車(消防用途車) | 35 | 35 | 35 | 35 | 36 | 35 |
| 消防車 | 71 | 71 | 71 | 73 | 72 | 72 |
| 救急車 | 14 | 13 | 13 | 13 | 13 | 13 |
| 特殊作業車 | 17 | 16 | 16 | 16 | 16 | 16 |
| 合計 | 412 | 406 | 401 | 403 | 403 | 403 |

出典 財産活用課資料をもとに作成

●行政財産（建物）の用途別延べ面積



出典 財産活用課資料をもとに作成

●連結貸借対照表（平成25年度決算）経年比較（単位：百万円）

| | H25年度 | H24年度 | 増減 | | H25年度 | H24年度 | 増減 |
|---------------|----------------|----------------|---------------|-----------------|----------------|----------------|----------------|
| | 構成比 | | | | 構成比 | | |
| 【資産の部】 | | | | 【負債の部】 | | | |
| 1. 金融資産 | 60,848 | 56,154 | 4,694 | 1. 流動負債 | 19,766 | 20,123 | △ 357 |
| 資金 | 19,678 | 20,194 | △ 516 | 未払金及び未払費用等 | 6,047 | 6,333 | △ 286 |
| 金融資産(資金以外) | 41,170 | 35,959 | 5,211 | 公債(短期) | 13,719 | 13,790 | △ 71 |
| 債権 | 12,768 | 12,218 | 550 | 2. 非流動負債 | 192,043 | 196,355 | △ 4,312 |
| 有価証券 | 2,128 | 1,712 | 416 | 公債(長期)・借入金 | 161,125 | 162,131 | △ 1,006 |
| 投資等 | 26,274 | 22,029 | 4,245 | 引当金 | 29,141 | 32,061 | △ 2,920 |
| 2. 非金融資産 | 795,465 | 789,489 | 5,976 | その他の非流動負債 | 1,776 | 2,163 | △ 387 |
| 事業用資産 | 183,774 | 181,774 | 2,000 | 負債合計 | 211,809 | 216,477 | △ 4,668 |
| インフラ資産 | 611,686 | 607,705 | 3,981 | 【純資産の部】 | | | |
| 繰延資産 | 4 | 10 | △ 6 | 純資産合計 | 644,503 | 629,166 | 15,337 |
| 資産合計 | 856,312 | 845,643 | 10,669 | 負債・純資産合計 | 856,312 | 845,643 | 10,669 |

出典 松戸市財務書類の概要（平成25年度決算）

2. 施策の展開方向

市の様々な財産を、適正に管理するとともに、その資源を活かし有効かつ効率的に運用していきます。また、公会計による財務4表(貸借対照表・行政コスト計算書・純資産変動計算書・資金収支計算書)の整備を進め、市の財産の現状を広く公開していきます。

行政目的としての役割が終了した財産(土地等)については、売却も含め、有効的な活用を図ります。その他、行政目的として先行取得した土地については、その事業の方向性も含め、有効活用を検討します。

耐震性が不足している公共施設については、「松戸市立小学校及び中学校施設等耐震改修基金」などの有効活用を図り、計画的な修繕・耐震化を進めていきます。

本計画の計画期間である平成32年度以降には、人口急増期に建設した公共施設が、次々に50年以上を経過することから、適切な維持管理により延命化を図りつつ、今後の市民ニーズの変化も見越した中で、市民意見を聴きながら、公共施設の再編に向けたプランづくりを行います。

3. 施策を推進していく上での課題

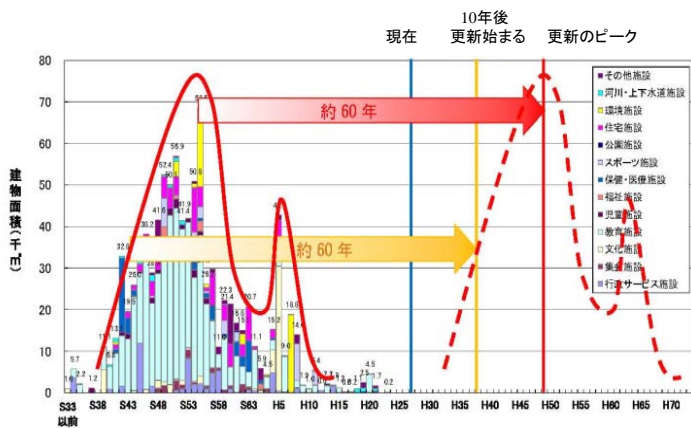
建設後30年以上を経過した施設が73%を占めており、市保有の公共施設をすべて大規模修繕・建替えを実施していく場合、大規模修繕及び建替えに必要な財源が3割不足するという試算を踏まえ、公共施設の再編整備を推進し対応していく必要があります。

また、有効的な活用が図れない未利用資産については、貸付け、売却などにより処分を実施する必要がありますが、必ずしも処分がスムーズに進まないのが現状です。

【特筆すべき松戸の強み・弱み】

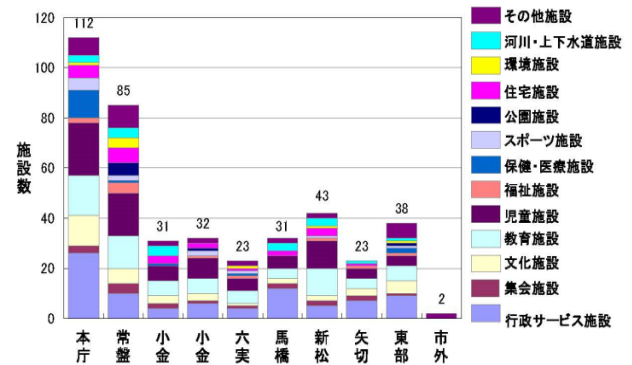
- ① 市保有建物は教育施設を中心に今後10年のうちには更新時期を迎え始めます(弱み)
- ② 市内には多くの公共施設が点在しており、公共施設の再編整備を進める中で、既存の施設を活用した新たな公共サービスの展開を図る基盤があります(強み)

●建設年度別に見た大分類別の建物面積の分布と想定される更新時期



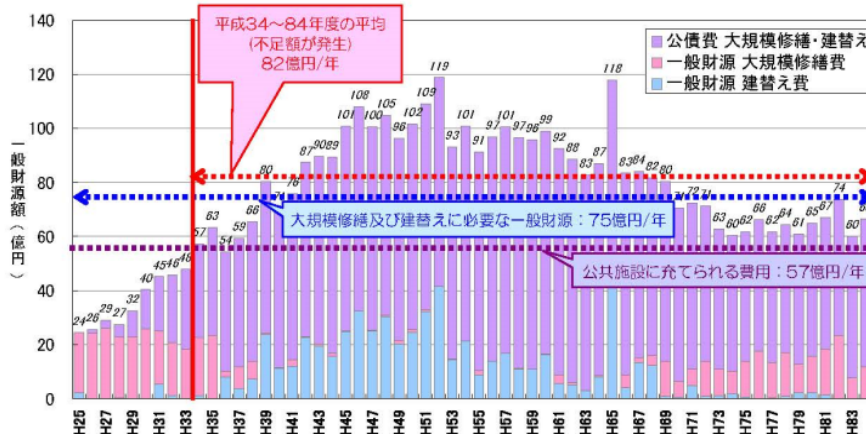
出典 松戸市公共施設再編整備基本方針

●地域別の公共施設配置状況



出典 松戸市公共施設白書

●市保有建物をすべて大規模修繕および建替えを実施した場合の一般財源額



出典 松戸市公共施設白書